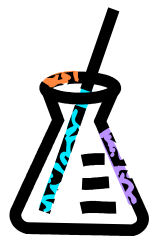


図書館子ども教室



はーん？反射ってなんだろう～水の万華鏡をつくらう～



講座のねらい

科学読物研究会会員の坂口美佳子先生を講師に迎え、20年以上継続して毎年夏休みに開催している講座です。今年、光の反射の実験や万華鏡の工作、さらには関連する光の科学に関する本の紹介を通して、子どもたちの科学への興味・関心を深める機会を提供するとともに、図書館資料の利用促進を図ります。

講座の様子

①まず、光の反射についての講義。子どもたちも真剣です！



②大きなスプーンには自分の顔がどう映るかな？



③どんな模様ができるか想像しながら思い思いに好きな色のビーズを試験管にいれました。

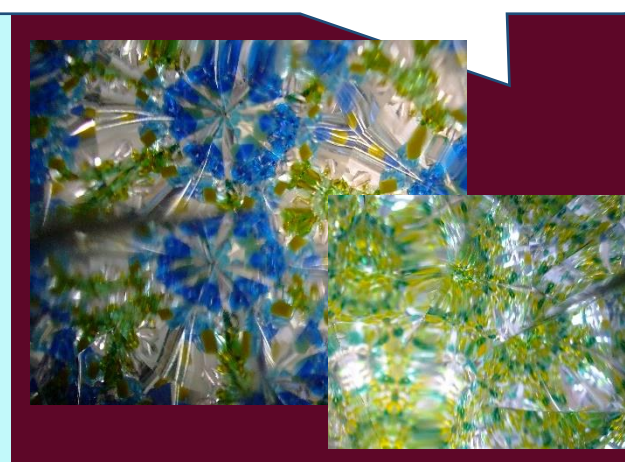
④ラップの芯の中に鏡を入れて、ビーズと水のりを入れた試験管をつけて万華鏡を作ります。



⑤完成を待ちきれずにのぞいてしまう子も…



⑥くるくる回すとどんどん模様が変わっていく、世界に一つだけの万華鏡ができました。



参加者の声

- ・いろいろな鏡の実験を通して、顔が長く見えたり横に伸びて見えたり、鏡の性質によって写り方が違うことが分かりました。
- ・ビーズや水のりなど身近な素材を使って、世界にひとつだけの自分だけの万華鏡を作ることができました。
- ・夏休みの自由研究に役立てたいと思います！
- ・紹介された科学実験や万華鏡工作の本を借りて読みたいと思いました。

成果と課題

- ・講義を聴くだけでなく、問いかけや実験・工作を通して、能動的に楽しく科学を体験することができました。
- ・「経験や知識をもとに結果を予測し、結果から物質の性質を考察する」という科学の第一歩を踏み出すことができました。
- ・実験中に紹介された図書館資料を通して、自らの体験を整理し、知識として吸収していく力を養いました。
- ・図書館にある科学の本への関心が高まりました。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、消毒・検温の実施し、3密を回避したうえで開催するなどの工夫が必要となりました。今後も、感染対策に配慮しつつ啓発的な体験活動の場を作るよう努めたいと考えます。